

# 北鹿の学び舎から

2023

おかげさまで **30** 周年

卒業生からのメッセージ～30周年に寄せて～ ③ 秋田職能短大

# 創立30周年に寄せて

私は、平成6年4月に第二期生として秋田職業能力開発短期大学の生産技術科に入りました。

本校では勉学に勤しみながらも、放課後にクラスメイトと多くの時間を過ごしました。

今は懐かしい当時の秋北ホテルでボーリングやカラオケ、桂城公園、ちよつと遠出して弘前公園でのお花見、授業での思い出を語るべきですが、振り返ると校外での思い出が真っ先に蘇ってきます。

二年生の時でしょうか、他の科は遊園地などに校外学習へ向かうなか、我が生産技術科は麓からの岩木山登山、あれ

夏場30℃を超える日が日常になった昨今、エアコンは場合によっては生死に関わる無くてはならないものになっており、技術の進化により、東北の寒冷地においても冬

今は懐かしい当時の秋北ホテルでボーリングやカラオケ、桂城公園、ちよつと遠出して弘前公園でのお花見、授業での思い出を語るべきですが、振り返ると校外での思い出が真っ先に蘇ってきます。

夏場30℃を超える日が日常になった昨今、エアコンは場合によっては生死に関わる無くてはならないものになっており、技術の進化により、東北の寒冷地においても冬

今は懐かしい当時の秋北ホテルでボーリングやカラオケ、桂城公園、ちよつと遠出して弘前公園でのお花見、授業での思い出を語るべきですが、振り返ると校外での思い出が真っ先に蘇ってきます。

夏場30℃を超える日が日常になった昨今、エアコンは場合によっては生死に関わる無くてはならないものになっており、技術の進化により、東北の寒冷地においても冬

今は懐かしい当時の秋北ホテルでボーリングやカラオケ、桂城公園、ちよつと遠出して弘前公園でのお花見、授業での思い出を語るべきですが、振り返ると校外での思い出が真っ先に蘇ってきます。

夏場30℃を超える日が日常になった昨今、エアコンは場合によっては生死に関わる無くてはならないものになっており、技術の進化により、東北の寒冷地においても冬

日本ビルコン株式会社  
東日本事業本部 北東北支社 支社長

工藤 巨さん

生産技術科 (平成7年度卒業)



場にエアコンを使用されている場や家庭も増えていり、つなかりを払う事が出来る現職に、やりがいを感じて更新まで、それらのサイクル

私の半生において本校での2年間は、とても貴重な時間となりました。学んだ専門知識を職場で直接的に生かす場面は無いながらも、材料力学や機械製図など、空調設備を設置する為の架台の設計や、部材を製図する際に役立つております。また、勉強だけではなく、音楽、スポーツ、ファッション、新たな友人との出会いから多くを学び、それが今の自分を形成する大きな要素となっています。高校を出て就職するつもりであった私へ本校を勧めてくれた亡き父に、今は感謝しております。

また、丁寧に指導くださった先生方にも大変感謝申し上げます。

最後になりますが、学校創立30周年おめでとうございます。これからも実践的な技術を学べる育成の場として、本校が未永く大館の地に在り続けることを祈念いたします。

